



野田小学校 学校だより

南風の丘から

学校づくりのモットー
明るく楽しく美しく

校長 犬嶋博之

今学期を振り返って

一学期は、新型コロナの波に揺られながらも行事や児童会等の活動などができました。昨年できなかった四年生の社会科見学も現四年生と合同で行うことができて正直ほっとしています。(五年生の行事日程が過密になって負担が大きかったのは今後の反省です。)

教科の授業も計画どおりに終了したのですが、補充学習が必要と思われる児童や、もっと発展的な内容をやりたい児童など、様々にありますので、限られた時間の中ではありますが、二学期以降、対策を講じていきたいと思っています。

なにはともあれ、明日から夏休みです。次に学校に来るのは八月九日です。元気な姿を見せてくれたらと願っています。



体験的な活動の意義

「AI vs.教科書が読めない子どもたち」の著者、新井紀子さんは、続編「AIに負けない子どもを育てる」の中で、読解力を高める方法の一つとして、次を挙げられていました。

「小学校で『見たことを正確に文章にする』ことを指導することが大切」

いわゆる「イメージ同定(文章とイメージが同じ事柄を意味しているのか分かる理解力)」と言われる力です。

さて、明日から夏休みです。

「青空にもくもくと上がる入道雲」

「にわか雨のあとの鮮やかな虹」

「さらさらと太陽の光に輝く波」

「真っ赤に空を照らして沈む夕日」

「山の端から覗く朝日の輝き」

「キンキンに冷えたスイカ」

「ほとばしる汗」

「満面のみんなの笑顔」



夏休みには、生き生きとした言葉で表せるようなすてきな景色をたくさん見てほしいと願っています。

〈コラム あかね雲〉

悲しみのあかね雲

明るく温かく、確かな指導力をもって子どもたちと私たちを包み込んでおられた相川広恵先生という太陽が水平線に見えなくなって一ヶ月余りになりましたが、心の中のあかね雲は、今も赤く輝いています。

振り返れば、野田小での一日一日をいとおしむように過ごされたのだと、一つひとつの授業や行事の時の姿を思い返します。その心を受け継ぎ、一所懸命に子どもたちに接していくことが、私たちにできることと、心に刻んでいます。相川先生の御冥福をお祈りします。

《 主な行事予定 》

<7月>

20日(火) 終業式

<8月>

9日(月) 県民祈りの日

全校登校日、平和集会

夏休み課題(絵・工作)提出

20日(金)

全校登校日、プシ給食

夏休み課題(自由研究・学習課題)提出

<9月>

1日(水) 始業式

6日(月) 夏休み作品展 ~10日

7日(火) 修学旅行説明会(6年生)

1年生授業参観・学級部会

《心に響いた言葉》 「どうしたの?」「君はどうしたいの?」「私に何か手伝えることあるかな?」

「自律する子の育て方/工藤勇一・青砥瑞人」に記述されていた教育実践から。2学期から本校でも実践予定!



シリーズ「令和の日本型教育」とはなんぞや？
〈第二回〉

「補充・発展的な学習指導」について

中教審答申には「補充・発展的な学習指導」について、次のように記されています。

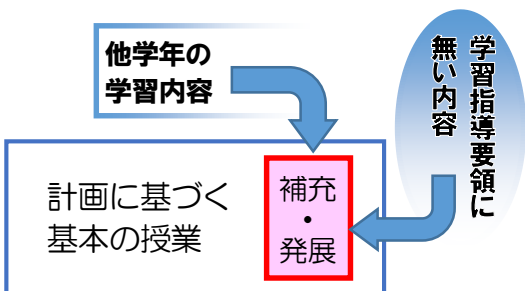
ア 補充的・発展的な学習指導

指導方法等を工夫した補充的な学習や学習内容の理解を深め広げる発展的な学習を取り入れる。

必要に応じて異なる学年の内容を含めて学習指導要領に示していない内容を加えて指導

イ 特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する指導（省略※）

この内容を左図に表してみました。



「予測のつかない未来」、「今は無い仕事の出現」など、変化への対応力が求められると言われていますので、授業自体にも、広がりやつながり、深みなどが求められているのだと思います。



本校の状況や

取り組んでいること

学校では、教科の一年間の授業計画として「年間指導計画」というものを立てますが、本校では、この計画の作成にあたって10%分をこの「補充・発展的な学習指導」に当てるようにしています。しかし、現状では「補充」に当てることが多く、発展的な学習や異なる学年の内容、学習指導要領に示されていない内容については、十分には扱えていないのが現状です。

GIGAスクールの取組が進んでいる学校では、配布された端末（いわゆる一人一台パソコン）を活用して、授業の効率化が図られるとともに、インターネット上に公開されている学習動画やアプリケーション等を活用して、

補充的な学習や発展的な学びを組み込んでいると聞いています。本校もそのような情報を積極的にキャッチして、授業研究（教育改革）を推進していきたいと思っています。



※「特定分野に特異な才能のある」とは「飛び級」をするような子どもや「ギフテッド」と呼ばれる子どもたちへの対応です。子供の才能は無限ですので、このことについても必要により対応していきます。

ふるさとの文化・歴史・人物——野田小教育の視点から

「産業」

本市ホーム

ページにある

「統計でみる

南島原市のす

がた」に職業

に関する資料

が掲載されて

います。意外

に外国の方が

多いと感じま

した。（本校児童数の約四倍）

最近では、第四次産業（知識集約型産業）や第五次産業（上級管理職など）もあり、第一次と第二次、第三次を自分（たち）でやってしまう第六次産業もあると聞きます。

今ある仕事の半分は新しい仕事に入れ替わるという未来です。なので変化に強い児童を育てていきたいと思っています。



【お礼】

本校職員 相川広恵教諭の葬儀に際しましては、PTAをはじめ、多くの方々からの御弔意を賜りまして、心から御礼申し上げます。

寂しさはまだ癒えませんが、相川先生の子どもたちへの愛情や教育に対する熱意を受け継いでいきたいと思っています。

	(単位 人)
人口総数	46,535
外国人人口	200
労働力人口	23,516
<small>(15歳以上で労働する能力と意志をもつ者)</small>	
第1次産業就業者数	5,398
第2次産業就業者数	4,461
第3次産業就業者数	12,723
自市区町村で従業している就業者数	18,453
他市区町村への通勤者数	4,076
他市区町村からの通勤者数	2,062

南島原市HP「統計で見る南島原市のすがた」から（抜粋）